第 145 回 長崎大学ＦＤ実施報告書（平成２９年４月４日提出）

１．題　目：凸凹大学生活から考える自閉スペクトラム症
～当事者の体験から理解の促進へ～

２．日　時：　平成 29 年 2 月 22 日（水）　16：00 ～17：30

３．場　所：　長崎大学グローバル教育・学生支援棟 4 階　スカイホール

４．主　催：　長崎大学 障がい学生支援室

５．対　象：　学内教職員及び学外者

６．長崎大学ＦＤに関する指針第二項への該当について【複数選択可】
（該当するものに○を記入すること）
［　○　］(1)　教員の教育活動に関するもの
［　　］(2)　カリキュラムの改善に関するもの
［　　］(3)　教育の組織的改善に関するもの
［　　］(4)　入学者選抜方法の改善に関するもの
［　○　］(5)　その他教育改善及び入学者選抜方法の改善に関するもの

７．今回のＦＤの趣旨・意義（６．に関連した形で記述すること）
平成 28 年 4 月に「障害者差別解消法」が施行され、障がいに対する意識が少しずつ高まっている。しかし、特に自閉スペクトラム症等の発達症において、その特性が多種多様で、対応する教職員が迷うことがある。本 FD では、当事者である大学生の体験から、発達症を経験する学生への対応について考えるきっかけを提供し、全教職員の意識改革および教員の教育活動改善に寄与するところに意義がある。また、公開講演会にすることで社会全体の発達症に対する理解促進にもつながると考えられる。

８．プログラム構成［題目・担当講師］（当日使用した資料等を添付すること）
1. 開会の挨拶　16:00－16:05
星野　室長（障がい学生支援室）
2. 発達症のある大学生について　16:05－16:15
バーニック　助教（障がい学生支援室）
3. 講演　16:15－17:15
山田 隆一　氏（長崎大学経済学部 4 年）

4. 質疑応答　17:15－17:25

5. 閉会の挨拶　17:25－17:30

調　副室長（障がい学生支援室）

９．参加者：　168 名（学内教職員 72 名・学生 14 名・学外 82 名）

（内訳）

所　　属	人　数
副学長	1
教育学部	1
教育学研究科	1
教育学部附属特別支援学校	4
経済学部	7
多文化社会学部	2
工学部	1
工学研究科	4
水産・環境科学総合研究科	3
医歯薬学総合研究科	5
国際教育リエゾン機構	1
産学官連携戦略本部	2
大学教育イノベーションセンター	1
地域教育連携・支援センター	1
病院	5
学生支援部	11
文教地区事務部	1
やってみゅーでスク	1
保健・医療推進センター	12
ダイバーシティ推進センター	3
障がい学生支援室	5
学生	14
学外者	82
計	168

※　別紙に参加者名簿を添付してください。

１０．実施したＦＤの成果等

（１） 参加者からの評価（アンケートの集計結果を記述する）

1.対象及び回収率

	長大教職員	外部	計
参加者数	72	96	168
回収数(回収率)	54(75%)	65(68%)	119(71%)
教育職員	24		
事務職員	21		
技術職員	9		
学生		14	
教育･保育関係		24	
福祉関係		3	
その他		24	

2.年代

	人数	%
20 歳未満	6	5%
20 代	18	15%
30 代	20	17%
40 代	30	25%
50 代	31	26%
60 代	12	10%
70 代以上	2	2%
計	119	100%

3.参加動機について(複数回答可)

	人数	%
自分自身や家族のため	45	38%
仕事上必要なので	51	43%
障がい者の支援等に関心があるから	77	65%
社会的関心が高まっているから	20	17%
その他	3	3%
計	196	
実数	119	

4.講演会をどのようにして知りましたか（複数回答可）

	人数	%
長崎大学ホームページ	29	24%
ポスター	11	9%
テレビ・新聞等	10	8%
担当者からのすすめ	16	13%
上司からのすすめ	3	3%
友人から誘われて	12	10%
小・中・高校からの通知	6	5%
部局からの通知	39	33%
その他	18	15%
計	144	
実数	119	

5.講演の内容はあなたの期待に合っていましたか

	人数	%
期待した内容でとても良かった	93	78%
まあまあ良かった	23	19%
期待に添わなかった	0	0%
その他	3	3%
計	119	100%

〈以下、アンケートの自由記述欄の設問と回答〉　※貴重なご意見等のため、全文記載

●今後、障がい者の理解及び支援等に関する講演でどのような内容を希望しますか

様々な種類の障がい者がいるので、その方々の経験を多く聞くことができると良いと思います。
教育現場における障がい者支援の現状
実際どのような支援を学生は受けているのか。
現場の対応等がわかるようなもの
障がい者支援に入るのか分かりませんが、LGBT に関して知りたいです。
教育現場における障がい者教育について
どのような社会的サポートが役立ったか、あるいは役立つと思うか。
障がい＋LGBT の特性を持つ場合の対応
どのように支援をしていけばよいのか、理解を深めるためにはどのようにしたらよいか。

是非、今後も特別支援学校へも案内をしてほしいと思います。当事者の話、具体的（理論も大切ですが）な話。
当事者の小中学時代のこと、学校や教師に望むことについての話を聞きたいと思います。
また実際に障がいを抱えて自分の生活をどう感じているかを聞いてみたいなと思いました。
生活上の生きづらさ、それの改善方法。
発達症の子供たちへの具体的な支援や学びの保障に関する取り組みについて
多くの事例
これからも発達障害について色々と講演してほしいです。
本人や家族の方の体験や希望等を聞き、自分を含む周りの人間が具体的にどう考え行動すれば良いのか知りたい。
アクティブラーニングと支援の折り合い
障がいのある方はもちろんですが、その家族（兄弟姉妹）の話も聞いてみたいです。
今回のような発達障がいに関する講演をもっと聞きたいです。
どうしたら多くの人たちが障がい者を理解しようとするのかの講演をきいてみたい。
当事者の方のお話を聞く機会はなかなかないので、支援者の方だけでなくもっと当事者や家族の話も聞きたい。
今回のように障がいを抱えている方からの話は障がい者を理解するのにとても有益だと思います。
様々な学部の学生にも発達症の存在について知る機会を提供してほしいです。
障がいのある方に学業を教えている人の体験を聴きたいです。
なかなかこういう関係の研究会、勉強会（支援の仕方）がないので、できたら夕方 6,7 時からの勉強会をしてほしい。仕事があると 4 時からではなかなかいけません。
学生を支える先生方が日々感じる問題点や課題などを伺っていければと思います。ほかのタイプの学生さんのお話も（支援されている先生方のディスカッション形式など）聞きたいです。
就労支援
自分の子供が ADHD であり、リハビリを 2 ヶ月に 1 度行っています。入試などで手続きをすれば必要な支援を受けることができると聞いています。そういった大学の取り組みとしての説明会や今後どういうことに取り組む予定かを教えていただけると助かります。
就職支援につながる出会いがあればすばらしいです。
今回のように当事者の方の考えや意見を聞きたい

●意見・感想

私も今年から生徒を指導する立場になりました。今回の講和で学んだこと、知ったことを活かして、生徒たちを成長できるようにしたいと思います。
ありのままを受け入れる、違いを尊重する。これからも心がけていきたい。
「普通」の大学生はいない。障がいがあったとしても、その特徴を認めて、うまく付き合っていき、周囲がそれをうまく理解すると、少しでも生きやすい環境になるのではないかと感じた。
当事者の話は一番響きます。
当事者のお話が伺える貴重な機会をありがとうございました。配慮が必要と思われる学生への対応など、頭も心も悩ますことがあるので、こうした機会はとても貴重だと思います。また、具体的対応や支援について、大学全体としてさらに取り組みを進めていただきたいです。
とても堂々としたお話を聞くことができ、とても勉強になりました。
最後に言われた「違いを尊重する」という言葉が心に残りました。発達症のご本人からの話だったので、とても説得力がありました。
小学生の息子は今、周りの子と違う自分を理解し始め、悩んでいます。山田さんが悩みながらも自分を受けいれ、ありのままでいる姿勢に勇気をもらいました。息子も受け入れる時が来れるよう、親として見守っていきたいと思っています。
当事者の方のお話は大変参考になりました。ありがとうございました。
山田さんの勇気と貴重なお話、ありがとうございました。とても準備されたと思います。これからもこのような活動を続けられるとのこと、これからの山田さんの未来を心から応援しています。応援させてください。
同じく自閉スペクトラム症の子供さんを持つお母さんの質問、回答にぐっときた。
自分をよく知って、受け入れて向上するという姿勢は、とても勉強になりました。
僕自身も ASD 的な傾向があります。だから、まず自分ができることをしたうえで、謙虚に配慮を求めていくという姿勢が、自分にはとてもできないというか、すばらしいなあと思いました。山田さん、どうもありがとうございました。
本人の生の体験を聞き、とてもためになった。
とても分かりやすく、聞きやすかったです。質問への応答も的確でした。 「アクティブラーニング」が実は相性でなく画一化を強制してしまうという問題、私も考えてみたいです。
講演お疲れ様でした。今後のご活躍をお祈りしています。
自分も発達症の当事者として、山田さんの講演はとても勇気をもらいましたし、生きる気力がわいてきたような気がします。

周到なじゅんびをされての講演、とても良かったです。ありがとうございます。Q&Aのときの奮闘ぶりも心打たれました。山田さんの今後のご活躍と心穏やかな生活を願っています。
とても具体的で、これまでの経緯や当事者の悩みを具体的に伝えて頂けたこと、学生（大学生）になって、自己理解も受けいれもできやすくなったこと。周りの理解など、考え方などとても参考になりました。長大出身ですが、このようなアシスト広場ができたのですね。これからの情報発信もお願いしたいです。
今回、当事者の方の話を聞かせていただいたことで、自分自身の当たり前が当たり前ではないということを再認識しました。自分の中の認識から変えていきたいと思います。貴重なお話をありがとうございました。
今回、小学生から大学までに自身が感じたことを聞く機会をいただいて、そのような機会をもつのは初めてだったので、とても良かったです。
非常に参考になりました。自閉スペクトラム症の方の生きづらさは人それぞれでとても分かりにくいが、今回の講演で一部であるがわかった。私も発達症の方の支援を学んでいく上で活かしていきたいです。
本人、友人、保護者へのメッセージがあったのは非常に参考になります。大学生活で自らが成長したと感じてもらえたのは、ご自身の取り組みが大きいと思いますが、大学としては嬉しいことと思いました。
具体的な事例や後半の対象を絞ったメッセージがとても勉強になりました。質疑に丁寧に答えてくださったことも参考になりました。
凸凹の見方をかえる。一つ一つがとても感動しました。ありのままに個性を大切にすることを学びました。ありがとうございました。
とてもとても良かったです。質問に答える時、とても苦手なことなのに頑張って答えてらして、大変で申し訳ないと思ったけれど、今回のこの経験がまた山田さんを成長させる力になると思いました。みんな凸凹です。大切に生きて下さい。
質疑応答も知りたかった内容ばかりでとても良かったです。
非常に有意義な講演でした。
今回のようなものには、教職員の参加を義務にしても良いと思います。年に数回やって１回は参加する。
大学の授業で自閉症スペクトラム障がいを学びましたが、実際生の声を聞いて、困り感であったり、今までの経験を聞くことが出来て、発達症についてより身近に感じることができました。
本日はありがとうございました。親として山田さんの講演は勉強になりました。（4月から大学生になりますので）

当事者の話をはじめて聞き、個性・個人を尊重することの大切さを改めて実感しました。人と同じ、周りに合わせる必要がないと心から思いました。日本人は周りと同じを好む、そうでなければならない…と思いがちだから。
実際に障がいを抱える方のお話を聞かせていただき、具体的な悩みや生きづらさを知ることができました。このような講演は様々な人が障がいに対する理解を得られる良い機会だと思います。
多様性への理解、尊重は重要であるとともに、特別でなく公平（もちろん合理的配慮の範囲）も必要である。
とても大切なことをたくさん伝えて頂き、ありがとうございました。これからもこの活動を続けていくとのことですが、また機会がありましたらお会いできるのを楽しみにしています。ありのままの素敵な山田さんに出会えたことを感謝します。
直接に自らが発達障害である人の話はとても具体的で学びが多かった
大学の障がい者に対する支援活動が活発であることに感謝します。
貴重な機会をありがとうございました。講演中照明をつけて欲しかったです。
自分自身、発達症の診断を受けたことはありませんが、大学入学後の生活を考え、大学入学前の生活を振り返ると、発達症（特にADHD）の傾向があるように感じています。診断を受けているわけではないので、専門家の方の意見を聞くこともできていません。母親の紹介という形ではありましたが、今回の講演の存在を知り、参加できてよかったと思っています。また、出身が長崎市ではないので、発達症に関する施設を知りませんでしたが、今日知ることができたので、予定があえば訪ねてみることを考えようと思います。ありがとうございました。
今後、同講演のような活動を続けていくとのことなので、活動の案内を出して欲しい（また参加したい）
大学生活を通して自分の障がいとしっかり向き合っており、とても貴重な話を聞くことができました。個々人を尊重することを意識しながら、今後の生活を送っていきたいと思います。
発達障害（アスペルガー）など、世の中では犯罪に結びつける傾向もあり、進んで周囲に告知することができません。世の中の理解を深め、すべての人が幸せに生活できる世の中だといいなと思います。山田さんの講演活動に勇気を頂きました。是非活動を続けていただければと思います。ありがとうございました。
ご自分のことを客観的に見つめることができておられたので、特に凸をたくさん見つけておられることにとても感心しました。
質疑応答が良かった。英語が得意という話はとても興味深かった。相手の気持ちを考えて発言されていて、自分の狭い知識を痛感した。
できる/できない事の違いがよくわかりました。どういう風に接していくと良いか、今後の参考にさせていただきたいと思います。

当事者の生の声を聞けたことは大変貴重な機会でした
自閉スペクトラム症を抱えている当事者からの話でとても興味深く聞かせていただきました。
山田さんの講演を聞いて、自閉症の人も性格を改善していこうという意志があれば変われることがわかりました。今後、発達症の人たちと無意識に距離をとらず、もっと知りたいと思うようになりました。ありがとうございました。
当事者の話を聞く機会ははじめてでした。とても参考になりました。山田さん、ありがとうございました。
障がいのこと、理解することが大事ですね。私も今まで付き合ってきた週と姑や家族での悩み、そうだったかも、と思えたら気も楽だったと思います。良いお話をありがとうございました。本人の口から聞くことができてよかったです。
同じ発達症の子をもつ親として、これからもありのままを受けいれ、寄り添っていこうと思います。ありがとうございました。子供が何を思っているのか、少し理解できた気がします。
ありがとうございました。今回の講演を聞く機会を作ってくださって。
障がいをサポートする側からの講演会ではなく、障がいを持った方側からの当事者の話を聞くことができ、とても参考になりました。
発達症のあるご本人の話を聞かせてもらい、とてもよくわかりました。（なかなかご本人の気持ちなどを聞けないので、表にでてこない…）
・障がい当事者の方の講演を伺う機会はあっても現役大学生の大学生活について、しかも地元の大学のお話をはじめて聞くことができて、本当に勉強になりました。 ・保護者として、お母様の理解のもとに大人になってこられたとのお話、心の支えにしていきます。 ・ご本人は「即答は苦手」とおっしゃっているので、質疑応答はどうかと…思いました。先生の助け舟がちょっと入っても良かったのかと感じました。でも山田さんは対応されていてすごいです。
貴重なお話がきけて、本当によかったです。
このような当事者の方の素直な意見発表が聞けてとても良かったです。保護者の立場からとても勉強になりました。
当事者からのお話が聞けたことはとても貴重でした。障がいの有無関係なしに、誰もがかかえる問題で、自己分析して前向きに対応されることで、先がひらけてくるのかなあと感じました。今日はありがとうございました。
とてもよい講演だった

このたびは自閉スペクトラム症のご本人が講演されるということで、とても興味があり参加させていただきました。私の娘も同じ障がいを持っており、親として何をしてあげられるか、どう接してあげれば良いか悩むことも沢山ありますが、山田さんの講演を聞いて希望が持てました。凹なことも凸に変えて、のびのびとサポートしてあげたいと思います。今日は本当にありがとうございました。
質疑応答の時間が十分にあってよかった。当事者の生の声が聞けてよかった。
貴重な機会をありがとうございました。山田さんが自分自身を知り、努力なさっている姿がとてもすばらしかったです。苦手な即興（質疑応答）にも対応されて、感動しました。

（２） 総　括（１０（１）を踏まえＦＤ全体の総括を記述する）

講演に対する満足度（数値）やアンケート自由記述の回答に鑑み、参加者はいろいろと考えさせられ、第一の目標であった「障がいに対する理解の促進」を達成したといえると思う。また、学生でもある当事者に講演していただくことにより、本学の教職員の障がいに対する認識も高まり、障がいのある学生が経験する困難を多少なりとも知ることができたという意味でも有意義な機会であった。さらに、「今後希望する内容」という自由記述から、発達症についてもっと知りたい、他の障がいの当事者の声を聞きたい、アクティブラーニングと支援との折り合いについて知りたい、大学の支援に関する取り組みについてもっと宣伝してほしいなどと講演会参加者のニーズも浮き彫りになり、今後障がい学生支援室や大学として取り組むべき課題が示唆されたように思う。

１１．実施代表者の連絡先

部　局：障がい学生支援室
職　名：助教　　氏　名：ピーター・バーニック
e-mail：bernick@nagasaki-u.ac.jp　　内　線：２９４８

１２．申請者の連絡先

部　局：
職　名：　　（同上）　　氏　名：
e-mail：　　内　線：